



2025 年 6 月 16 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 フ ォ ー シ ー ズ H D
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 寺 田 智 美
(コード番号 3726 スタンダード市場)
問 合 せ 先 代 表 取 締 役 副 社 長 松 野 博 彦
(TEL. 092-720-5460)

(開示事項の経過) 当社連結子会社における新たな事業の開始に関するお知らせ

当社は、2025 年 6 月 16 日開催の取締役会において、連結子会社のファンタスティックフォー第 1 号合同会社（以下、「ファンタスティックフォー第 1 号」といいます。）2025 年 2 月 14 日に「当社連結子会社における新たな事業の開始に関するお知らせ」にて公表いたしました、系統用蓄電所に関する事業において、Second Foundation Japan 合同会社（本社：東京都千代田区、職務執行者 南 満穂、以下「SFJ」といいます。）とアグリゲーションを目的とした蓄電池運用業務等委託契約を締結することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 本提携の目的

当社グループは、グループ経営方針として新たな事業の柱を増やしていくことを方針の一つとしており、2024 年 5 月 10 日に新たな事業として再生可能エネルギー事業への参入を決議し、翌月 6 月より太陽光発電事業のコンサルティング事業を開始しております。さらに、2025 年 2 月 14 日に公表しましたとおり、ファンタスティックフォー第 1 号において、系統用蓄電所に関する事業を開始いたしました。

2050 年のカーボンニュートラル実現に向けて再生可能エネルギーの導入拡大を図るうえで、季節や天候によって変動する発電量に対応する調整力の確保や、電力需要が少ない時間帯で発生する余剰電力を有効活用することが課題となっている中で、これらの課題を解決するために、系統用蓄電池を活用し、電力系統に直接接続することで市場を通じた調整力や供給力の提供が可能となる系統用蓄電所の需要が高まっております。

株式会社矢野経済研究所の調査によると、2024 年の電力系統関連の定置用蓄電池（ESS）世界市場規模で、メーカー出荷容量ベースで 93,185MWh に達しています。これは、カーボンニュートラル実現に向けた各国の支援制度強化や、電気料金高騰による自家発電・自家消費需要の増加、再生可能エネルギー発電コストの低下による売電利益改善などを背景に、大幅な成長を遂げたことを示しており、2023 年の市場規模は前年比 151.7%の 141,323MWh に達すると予測され、2032 年の電力系統関連定置用蓄電池（ESS）世界出荷容量は 682GWh と予測されています。カーボンニュートラル実現に向けた再エネ発電設備増加を背景に、電力需給安定化のための電力系統関連の定置用蓄電池（ESS）導入が更に加速化する見通しとなっています。

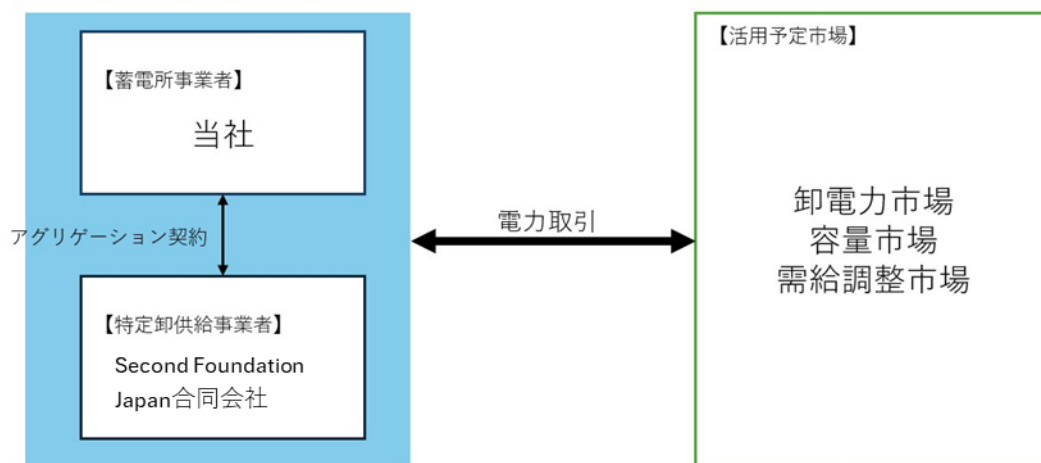
そのような中で、当社グループはお悩み解決型企业として「美と健康」、「生活における癒しの分野」で化粧品やアロマ関連製品の販売を行っていますが、地球環境においても、当社グループは皆様の暮らしや次の世代において、暮らしをよりよいものとするため、事業の展開を促進していきます。

2. アグリゲーター契約の内容

系統用蓄電所においては、株式会社オークモントより 2025 年 2 月 14 日付で系統用蓄電所の接続権を譲受し、この接続権をもとに電力のアグリゲーター（電力を使用する需要家と電力会社または小売電気事業者（PPS）の間に立ち、電力の需要と供給のバランスコントロールや、各需要家のエネルギーリソースの最大限の活用に取り組む事業者で「特定卸供給事業者」ともいいます。）との契約が現在の当社グループには必要条件となります。ファンタスティックフォーが開発した系統用蓄電所の電力を売買するため、アグリゲーターとして海外・国内共に実績（※1）のある Second Foundation Japan 合同会社（以下、「SFJ」といいます。）（※2）に、電力を使用する需要家と電力会社の間で仲介するアグリゲーターとしての業務を行っていただく目的として蓄電池運用業務等委託契約を締結することといたしました。

※1 ヨーロッパでの小売りの契約電力は過去に最大で約 400 万 kW 程度に達した供給実績があります。また、国内では 2020 年度の「特別高圧・高圧電力販売」分野においては、みなし小売電気事業者を除いた市場全体の約 5 %を占める実績を有しております。

※2 Second Foundation Japan 合同会社は、国内の太陽光発電において約 2 GW の需給調整業務（電力の需要と供給のバランスをリアルタイムで保つ業務）と 2030 年までに約 2 GW のアグリゲーション業務（分散型電源（太陽光発電、蓄電池など）や需要家側のリソースを束ねて、一つの大規模な電源のように活用する事業）を計画している Second Foundation a.s.（チェコ共和国プラハ、創業者：Vojtěch Kačena、Jaromír Šatánek、Petr Poštulka）が日本における電力取引事業の推進を目的として 100%出資し設立した子会社です。



今回の SFJ との契約により当社グループにおける蓄電池事業をスタートすることが可能となります。今後、当社グループは、2025 年 3 月より年間 24 か所（蓄電池容量 192MW）の蓄電所の開発を計画してまいります。

< 参照 >

今後の開発目標

開発エリア	北海道、東北、東京、中部、北陸、関西、中国、四国、九州
開発目標	年間 24 ヶ所
蓄電池の出力と容量	2,000kW／8,000kWh

3. 相手先の概要

(1)	名 称	Second Foundation Japan 合同会社		
(2)	所 在 地	〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-3-29 VORT 紀尾井坂 8 階		
(3)	代表者の役職・氏名	職務執行者 南 満穂		
(4)	事 業 内 容	電力小売事業		
(5)	資 本 金	1 百万円		
(6)	設 立 年 月 日	2023 年 5 月		
(7)	大株主及び持株比率	Second Foundation a.s. (チェコ共和国プラハ) : 100%		
(8)	上場会社と当該会社 との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。	
		人 的 関 係	該当事項はありません。	
		取 引 関 係	該当事項はありません。	
		関連当事者への 該 当 状 況	該当事項はありません。	

※当該会社の最近 3 年間の連結経営成績及び連結財政状態は、相手先の要望により非開示とさせていただきます。

4. 日 程

(1)	取締役会決議日	2025 年 6 月 16 日
(2)	契約締結日	2025 年 6 月 16 日 (予定)

5. 今後の見通し

本件による当社の今期の連結業績への影響は現在精査中です。確定次第速やかにお知らせいたします。
(参考) 当期連結業績予想 (2025 年 5 月 14 日公表分)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
当期連結業績予想 (2025 年 9 月期)	2,647	9	▲ 7	▲ 9
前期連結実績 (2024 年 9 月期)	2,257	▲126	▲129	▲273

以 上